

各位

会社名 ヤーマン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山崎 貴三代  
(コード：6630 東証プライム)  
問合せ責任者 取締役管理本部長 宮崎 昌也  
(TEL03-5665-7330)

## 関係会社株式評価損（個別）の計上及び 通期連結業績予想と実績値の差異並びに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年4月期の個別決算において、関係会社株式評価損を計上いたしましたので、その概要をお知らせいたしますとともに、2025年3月14日に開示した2025年4月期の通期連結業績予想値と、本日公表した実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、個別業績予想は開示しておりませんが、個別決算において、当事業年度の実績値と前事業年度の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 関係会社株式評価損（個別）の計上

当社の連結子会社であるYA-MAN U. S. A Ltd、雅萌（上海）美容科技有限公司、株式会社 forty-four の3社の株式につきまして、実質価値が低下したため、個別決算において、関係会社株式評価損 608 百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、上記の評価損は、連結決算においては消去されるため、2025年4月期の連結業績への影響はありません。

#### 2. 2025年4月期通期連結業績予想と実績値の差異（2024年5月1日～2025年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,000	900	600	1,100	19.99
実績値 (B)	25,040	628	310	706	12.85
増減額 (B-A)	40	△271	△289	△393	
増減率 (%)	0.2	△30.2	△48.3	△35.7	
(ご参考) 前期通期実績 (2024年4月期)	32,023	416	1,010	398	7.24

#### (差異の理由)

売上高は、2025年3月14日に開示した通期連結業績予想値と同水準の着地となりました。しかしながら、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、売上の最大化を目指して新規カテゴリー製品に対して積極的に投資を実行してまいりましたが、予想値を下回る結果となりました。

3. 2025年4月期通期個別業績の前期実績との差異（2024年5月1日～2025年4月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値 (A) (2024年4月期)	30,849	860	2,037	162	2.95
当期実績値 (B) (2025年4月期)	21,769	1,153	995	△69	△1.26
増減額 (B-A)	△9,079	292	△1,041	△231	
増減率 (%)	△29.4	34.1	△51.1	—	

(差異の理由)

売上高につきましては、海外部門において、中国国内の化粧品市場全体の低迷の影響等があり前事業年度を大幅に下回り、また、国内の直販部門においては、利益最大化のための広告投資抑制により想定を下回る結果となりました。

経常利益及び当期純利益は、上記による減収に加え、円高の進行による為替差損が発生したことや法人税等調整額で損失を計上したこと等により、前事業年度を下回ることとなりました。

以上